

1. 投稿者の資格

投稿者は共著者も含め原則として大阪母性衛生学会会員に限る。

2. 論文の内容

論文の種別は、原著、事例報告などで、母性衛生の向上に寄与しうるもので、他誌に発表していないものに限る。論文は編集委員が査読を行う。

3. 原稿の作成

- 1) 原稿は、Windows 版 Microsoft Word で作成し、Microsoft Word 以外のデータ（一太郎、PDF を含む）の原稿は受け付け不可とする（OS の Macintosh は事務局へ要相談）。書式は、A4 の用紙を縦置き、文字は横書きで 40 字×20 行（800 字）、用紙 10 枚以内（図表を含む）で作成する。図表は適切なソフト（Excel、Power Point、Photoshop 等）を用いて作成し、通しナンバーを付ける。図表にはタイトルを付ける。写真は図として取り扱う。図表の挿入希望箇所は、本文の右欄外に明記する。欄外に頁数を入れる。
- 2) ヒトを対象とした研究は、世界医師総会（World Medical Assembly）において承認された、ヘルシンキ宣言（1964 年承認、2013 年修正）の精神に準拠し、文部科学省、厚生労働省及び経済産業省から告示されている、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等、最新のものを遵守して行われたもので、倫理委員会の審査を受け「承認」されたものでなければならない。
- 3) 投稿論文の内容に関し、当該論文の利益相反に関する事項についてその状況を開示しなければならない。「本論文内容に関連する利益相反事項はない。」又は「著者〇〇〇〇は△△△△との間に本論文内容に関連する利益相反を有る。」と記載する。

4. 論文構成

論文記述の順序は原則として次のようにする。

表題、所属名、著者名（原著・研究報告は 10 名以内、事例報告は 8 名以内とする）、抄録、索引用語（key words）、緒言（目的）、研究（実験）方法、結果、考察、結語、謝辞、利益相反、参考文献、図表の順序とする。

症例について記載する際には、プライバシー保護の観点から必要最低限の情報のみを記載すること（来院日や分娩日などの具体的な記述はしない等）。

5. 抄録

字数は 400 字以内、key words は 5 語以内にまとめる。

6. 用字、用語

原則として常用漢字とひらがなを使用する。学術用語は日本産科婦人科学会編「産婦人科用語集・用語解説集改訂第 4 版」および日本医学会編「医学用語辞典」に従うものとする。治療薬の表記は、原則として一般名で表現する。

7. 単位、記号

単位は国際単位系を使用し、m, cm, mL, kg, g, µg, °C, mEq/L などとする。数字は算用数字（1, 2, 3）を用いる。

8. 文献の引用

論文に直接関係のあるものにとどめ、本文中では引用部位の右肩に文献番号^{1), 2,3), 4-6).....}を付け、本文の最後に一括して引用番号順に記載する。

雑誌名は、和分誌は医学中央雑誌略名（医学中央雑誌刊行会編）、欧文誌は Quarterly Cumulative Index Medicus 等に従って略する。

著者名は、和文はフルネーム、欧文は姓のみフルスペル、それ以外はイニシャル、いずれも 3 名まで記し、それ以上の著者名は「他」「et al.」を用いて略記する。

雑誌の場合

引用番号) 著者名: 題名. 雑誌名, 発行年（西暦）, 巻数, 頁-頁.

例 1) 佐藤太郎, 青木二郎, 山田三郎, 他: 思春期の月経異常. 母性衛生, 2003, 44, 1-10.

2) Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al.: Premature labor and infant mortality. Am J Obstet Gynecol, 2002, 159, 65-68.

単行本の場合

引用番号) 著者名: 書名, 発行地, 発行所, 発行年（西暦）.

例 1) 松本一郎編: 受胎調節の実際. 東京, 第一出版, 1999.

2) William J: Family structure and function. Philadelphia, Saunders, 2002.

単行本の一部を引用した場合

引用番号) 著者名: 題名. 編者名. 書名, 発行地, 発行所, 発行年 (西暦), 頁-頁.

例 1) 松本五郎: 受胎告知. 松本一郎編. 受胎調節の実際. 東京, 第一出版, 1999, 1-10.

2) William J. Family structure. Conn ed. Family structure and function. Philadelphia, Saunders, 2002, 1-10.

9. 論文の掲載料

規定内に要する費用は無料とする。

10. 論文の別刷

別刷を希望する場合の費用は投稿者の負担とする。

11. 原稿の送付方法および送付先

原稿は電子データをメール添付にて提出する。原稿の送付先は下記宛とする。

【原稿送付先】

Email: gr-med-osakabosei@omu.ac.jp

12. 著作権

本誌に掲載した論文の著作権はすべて大阪母性衛生学会に帰属する。

13. その他

二重投稿が明らかになった場合には、筆頭著者及び共著者は3年間本学会誌への投稿は受理しない。また、投稿、掲載された論文は二重投稿と判明した時点で削除、却下する。以下の全てに該当する内容の論文を二重投稿とみなす。

- ① 対象が基本的に同じであること
- ② 方法が同じであること
- ③ 結果・考察に新しいものがないこと

以上